

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

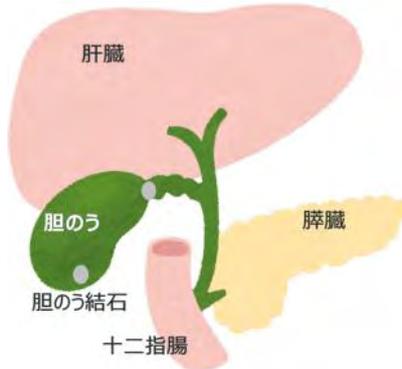
さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



知っておいた方がよい胆嚢の病気 ～怖い病気は急性胆嚢炎と胆嚢癌～

横浜新緑総合病院 消化器センター 外科 医長 佐々木 一憲

胆石とか胆嚢ポリープという病名はよく聞く病名だと思えます。10人に1人は胆石を持っていると言われており、現在も増加傾向にあります。胆嚢は体の右側にあり、周囲には肝臓、膵臓、十二指腸、胃があります。形は洋梨のような形をしています。胆嚢の働きとしては肝臓で作られた胆汁を濃縮し、食後に胆嚢が収縮する事で胆汁を十二指腸に流して、食事と混ぜることで脂肪の分解をします。



【胆石はなんで痛くなるのでしょうか？】

胆嚢にできた泥が石となり徐々に大きく育っていき、育った石が急に胆嚢の出口にはまり込む事で痛みを起こします。石の大きさと胆嚢の出口の大きさがポイントになってきます。

一時的な石のはまり込み症状を胆石発作といい、持続的にはまり続けて炎症が悪くなる病態を急性胆嚢炎と言います。急性胆嚢炎は放置すると、胆嚢が壊死して命に関わる病気です。そのため適切な対応が必要とされています。



【胆石の治療】

胆嚢にできるできものでは、コレステロールポリープが一番多いです。他に良性の腺腫性ポリープ、それと胆嚢癌があります。ポリープは10mm以上かつ増大傾向のもの、また広基性のポリープでは癌の可能性があるので、手術をお奨めする事もあります。



【なぜ胆嚢に石ができるのでしょうか？】

胆嚢は流れが淀む場所で、濃縮している際に泥ができる事があります。食後に胆嚢が収縮する事で、泥は十二指腸の方に流れていき、胆嚢内は綺麗に保たれるのですが、胆嚢に炎症があったり、できものがあつたりすることで胆嚢の動きが悪くなります。



胆石症の症状としては、右の肋骨の下やみぞおちも痛くなる事があります。他には発熱、黄疸、吐き気を認めたりします。しかし6～8割の人が無症状と言われています。症状がないからといって胆石がないといった事は言い切れないので、一度腹部の超音波検査を受ける事が大切です。超音波検査は痛みもなく、すぐにできる検査です。食事を食べると胆嚢がしぼんでしまうので、食事は取らずに来院することをお奨めします。

無症状の胆石では通常経過観察をします。症状のある胆石では原則手術を、また無症状でも癌を疑わせる所見がある方は手術をお奨めするので、やはり一度超音波検査は受けられた方が良いでしょう。

命に関わる病態である急性胆嚢炎は早期に腹腔鏡下手術（小さな創の手術）をすることが大切と言われており、当院でも積極的に早期手術をしております。右の肋骨の下やみぞおちに痛みがある時には早めに病院を受診することをおすすめします。

第12回 WEB版 みんなの健康講座

- ① 「知っておいた方がよい胆嚢の病気」
- ② 「怖い病気である急性胆嚢炎について」



4月入職 新任医師ご挨拶

《 消化器内科 》 部長 白井 孝之 (しらい たかゆき)

東海大学消化器内科教授を退任し、4月より赴任いたしました。卒後5年間を現：NTT東日本関東病院で研修した後は、途中1年間救急部に出向し、以後は大学の消化器内科にて主に内視鏡を用いた診断・治療と臨床研究を行って来ました。消化管難病である炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）や進行癌の化学療法にも熱意を持って従事して参りました。今のところ当院では需要が少ない様ですが、カプセル内視鏡による小腸疾患の診断にも注力して参りますので、症例がありましたらご紹介ください。



当院には2015年頃より、月に1回、内視鏡および健診業務に関わらせていただいております。当時から「スタッフが気持ちよく挨拶される活気のある病院」との印象でした。また、内視鏡検査時の患者の苦痛軽減、安全配慮等に当院独自の工夫が凝らされ、多くの点で感心させられました。

これまでの経験を生かして当院のためになる提案ができたと思っています。近隣医療施設の先生方とは双方向の緊密な連携をして参りたいと存じますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

<専門> 消化器内科一般、炎症性腸疾患

<資格> 日本内科学会 総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本大腸肛門病学会専門医、緩和ケア研修会 修了

《 内科 》 副部長 手塚 信吾 (てづか しんご)

4月より入職いたしました手塚 信吾と申します。専門は循環器内科で、2004年に日本医科大学を卒業後、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）に対する心臓カテーテル検査・治療や、末梢動脈疾患に対するカテーテル治療を中心に、一般内科診療に多く携わって参りました。

「患者さまに寄り添う診療」を信条としており、多彩な背景を有する患者様のニーズに合わせた診療をご提供できるよう心掛けております。今後も地域医療に貢献できるよう精進して参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

<専門> 循環器全般、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、閉塞性動脈性疾患

<資格> 日本循環器学会認定専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本内科学会認定内科医・指導医、身体障害者福祉法指定医（心臓機能障害）



部門紹介 2022 | リハビリテーション部 作業療法

リハビリテーション部には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3つの専門職が在籍しています。今回は作業療法士の役割についてご紹介します。作業療法士は、病気やケガなどで生活に支障をきたした方に対して、腕の動きや日常生活動作（着替え、入浴、食事など）の訓練、記憶・判断力の訓練などを行います。さらにレクリエーションや創作活動といった余暇・応用的作業を通して治療・指導・援助を行っており、以下のような特殊な訓練もあります。



電気刺激療法：腕の訓練において、経皮的に電気刺激を加え麻痺筋の筋収縮を誘発することで、筋力増強や筋萎縮の予防等の訓練を行います。

高次脳機能障害のリハビリ：脳の損傷により、気が散りやすくミスが多くなる「注意障害」や何かを覚える事が苦手な「記憶障害」、感情や行動の抑制が効かなくなる「行動障害」などの症状により、日常生活や社会活動に支障をきたします。外から見ても分かりにくい症状であり、特徴を探りながら種々の対策や訓練を行います。

当院では、入院初期から症状に合わせた様々な訓練や援助を行っています。そして、退院後の生活を想定した生活能力の獲得を図り、その方に合わせた生活の方法を一緒に考え、支援してまいります。

リハビリテーション部 作業療法士 中村 衛治